

耐用年数推定による 柵状構造物の維持管理の 手引き

Version : 2.43

2020年2月

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構

森林研究本部・林産試験場

目次

はじめに.....	1
1. 適用の範囲.....	3
2. 劣化診断の目的と手法	4
3. 劣化診断の計画.....	7
4. 耐用年数の推定と劣化診断時期.....	9
4.1 耐用年数の推定	
4.2 基準耐用年数	
4.3 耐用年数推定式（鉛直部材・土中埋設型）	
4.4 耐用年数推定式（水平部材）	
4.5 経過観察となった部材の次回劣化診断時期	
5. 柵状木質構造物の維持管理フロー.....	15
6. 任意に耐用年数を設定する場合について.....	17
6.1 耐用年数設定（延長）の手順	
6.2 耐用年数を設定（延長）する場合の設計例	
資料1 目視による腐朽被害の判定基準	
資料2-1 管理台帳（案）	
資料2-2 劣化診断シート（案）	
資料3 残存耐用年数早見表	
表3-1 鉛直部材（土中埋設型）	
表3-2 水平部材（土壌近接型）	
表3-3 水平部材（非接地型）	
資料4 参考文献	